



2018年11月28日

各位

会社名 株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ
代表者名 代表取締役社長 杉 崎 康 昭
(コード番号：5726 東証第一部)
問合せ先 総 務 部 長 土 井 卓
(TEL. 06-6413-9911)

ポリシリコン事業からの撤退に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおりポリシリコン事業において、株式会社SUMCO（以下、「SUMCO社」といいます。）との長期売買契約を中途にて合意解約を行った上で同事業から撤退することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 長期売買契約の中途合意解約と事業撤退の理由

当社は単結晶シリコンウエーハの材料となる多結晶シリコン（ポリシリコン）の生産を1960年に開始し、以降、自社開発の技術に様々な改良を重ね、極めて高い純度が求められる半導体用ポリシリコンの製造・販売事業を展開し、当該事業は主力事業であるチタン事業とともに、当社発展の一翼を担って参りました。

しかしながら現状においては、半導体需要は堅調に拡大しているものの、その一方で半導体用ポリシリコンの世界的需給ギャップは解消されず、販売環境は極めて厳しく、その状況は将来に亘って継続していくものと想定しております。

また足元における各顧客からの半導体用ポリシリコンに対する品質要求は今後一層高度化することが想定され、これら要求を満足するには相応の設備投資が必須となります。当社は、本年5月に発表した中期経営計画にて、ポリシリコン事業の最大の課題を競争力強化とし、様々な取組を行っておりますが、当社ポリシリコン事業の事業規模からは、このような設備投資負担は当該事業のコスト競争力に大きな影響を与えることとなります。

こういった背景の下、当社は長期売買契約を締結しているSUMCO社との間で、今後の更なる品質向上に向けた様々な協議を行って参りましたが、その協議の中で、当該契約の合意解約を行うとの結論に至りました。

一方で、当社のチタン事業は順調な拡大基調にあるとともに、高機能材料事業も今後の発展が期待できる状況にあります。当社の将来に亘る事業発展の為には、これら事業の一層の伸張が重要となって参ります。

こういった状況を総合的に勘案し、当社は今般、SUMCO社との長期売買契約を中途解約し、解約に伴う解約金を受領の上、同事業から撤退する一方、チタン事業と高機能材料事業に持てる経営資源を最大限注力することが、当社資本の効率的運用に最も資するとの判断に至りました。

2. 撤退する事業の概要

(1) ポリシリコンの製造及び販売

(2) ポリシリコン事業の業績 (2018年3月期)

	ポリシリコン事業(a)	2018年3月期実績(b)	比率(a/b)
売上高	10,626百万円	43,431百万円	24.5%
営業利益	84百万円	3,322百万円	2.5%

3. 今後の予定

2018年12月末にポリシリコンを製造終了し、加工・検査を経て、2019年3月末に主要顧客への製品出荷完了目途とします。

また、当該事業に関する資産については、2019年3月期決算において減損処理を実施する他、事業撤退に伴うその他の損失、諸費用を特別損失に計上するとともに、解約金を特別利益に計上します。

当該事業に従事する社員については、チタン事業等への配置転換をはじめ、個々人に応じて円滑な対応を講じて参ります。

なお、新たな事業ポートフォリオに基づく経営計画を今後検討、具体的方針を策定のうえ公表して参ります。

4. 業績への影響

特別損失として2019年3月期第3四半期会計期間に120億円、2019年3月期第4四半期会計期間に7億円(2019年3月期累計で127億円)を計上する見込みです。

また特別利益として2019年3月期第4四半期会計期間に100億円を計上する見込みです。

上記特別損益の計上を含めた2019年3月期業績予想の修正につきましては、本日発表の「特別損益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以上